45 01 09 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　平成24年08月20日(月)

事務事業	常備車両購入事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4512
総合振興計画 基本戦略		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□		
総合振興計画 主要プロジェクト					サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	000005 安全に暮らせるまちづくり＜生活安全＞	根拠法令個別計画等	ＮＯｘ・ＰＭ法 埼玉県生活環境保全条例				
行政計画分野別施策名 中項目	000002 消防・救急体制の充実						
行政計画分野別施策名 小項目	000002 消防体制の充実						

事業概要	近年複雑多様化する災害に対応するため、老朽車両に対して順次、最新の消防特殊車両へ更新を行うことにより、火災等の災害に対応できる体制を整備するものである。
目的 ※何のために	複雑多様化する災害に対応するため
対象 ※誰・何を対象に	老朽車両
手段 ※どのように	最新の消防特殊車両への更新を行う
成果 ※何を求めるか	火災等の災害に対応できる体制を整備する
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	01	常備消防費	常備車両購入事業	43,883,140
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・常備消防車両等の更新	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画		寄居１号車更新 消防本部連絡車更新 深谷査察１号車更新	深谷２号車更新	救急花園１号車（車両のみ）更新	救急岡部１号車更新 救急深谷１号車（車両のみ）更新	救急上柴１号車更新	花園１号車更新 深谷梯子１号車（３０m）更新
事業費	予算（現額）	41,139,000	34,724,000	16,167,000	47,085,000	50,991,000	50,991,000
	決算額	40,746,775	33,591,970	16,155,770	43,883,140	0	0
財源内訳	国支出金	9,361,000	0	0	10,157,000	12,654,000	12,654,000
財源内訳	県支出金	0	0	0	0	0	0
財源内訳	地方債	22,200,000	0	11,300,000	28,400,000	15,600,000	15,600,000
財源内訳	他特定財源	8,336,000	7,025,000	3,536,000	3,831,400	9,471,000	9,471,000
財源内訳	一般財源	849,775	26,566,970	1,319,770	1,494,740	13,266,000	13,266,000
人件費	従事職員数(人)	0.32	0.32	0.32	0.32	0.85	0.85
人件費	人件費相当試算※１	2,697,606	2,596,139	2,468,480	2,460,800	6,714,150	6,714,150
人件費		0	0	0		0	0
(総事業費試算)		43,444,381	36,188,109	18,624,250	46,343,940	57,705,150	57,705,150

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	車両更新率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			車両等年次整備計画に基づき目標値を設定						
		更新台数／更新予定台数									
■	成果指標１	火災等の災害対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			火災等の災害に対し、対応することは消防の責務であるため、目標値は１００％						
		災害数／災害対応数									
■	効率指標１	更新車両１台あたりに係る経費	目標値	千円							■
			実績値		8,688.87	36,188.10	18,624.25	26,171.46	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			年度により、更新車両が異なるため目標値の設定はできない						
		総事業費／更新車両台数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 車両等年次計画に基づき計画的に更新することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、各種災害に対応することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	－	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 年度により、更新が異なることから目標値は設定できない。 補助金制度を活用するなど、各種災害に対応できる最新鋭の救急車両を効率よく更新することができた。

評価者	補佐兼警防企画係長　太田原健二

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	今後についても、ＮＯｘ・ＰＭ法等の規制法令に該当する車両や老朽化した車両について、車両等年次整備計画に基づき更新を行っていく方針であり、また購入事業費についても補助金制度等を活用し、財源の確保に努めながら実施していく。
達成状況 及び その効果	更新車両の経過年数及び使用状況を鑑み、今年度は、補助金制度を活用し災害対応特殊救急自動車の更新及び、高規格救急自動車の車両のみを更新し、救急車両へ積載する高度救命処置用資器材を更新車両へ乗せ換えて使用することでコストの削減を図ることができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	常備車両購入事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4512

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

各種災害に対応する消防自動車等が、老朽に伴う故障により機能しなければ、市民生活に甚大な影響を与えることから、老朽化の著しい消防車両及び規制法令に該当する車両は計画的に整備しなければならない。

評価者	警防課長　森光廣

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

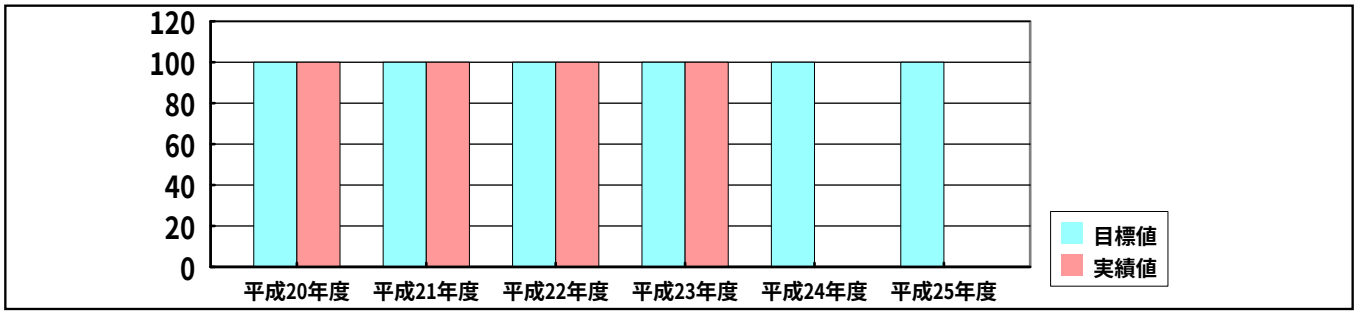
改善・改革案	車両年次整備計画に基づき、ＮＯｘ・ＰＭ法等の規制法令に該当する車両や、老朽化した車両を随時更新し、災害に対応できる体制を整備していく。 消防力等整備計画に基づき、適正な整備をし、コスト削減意識をもって更新等の見直しを図っていく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

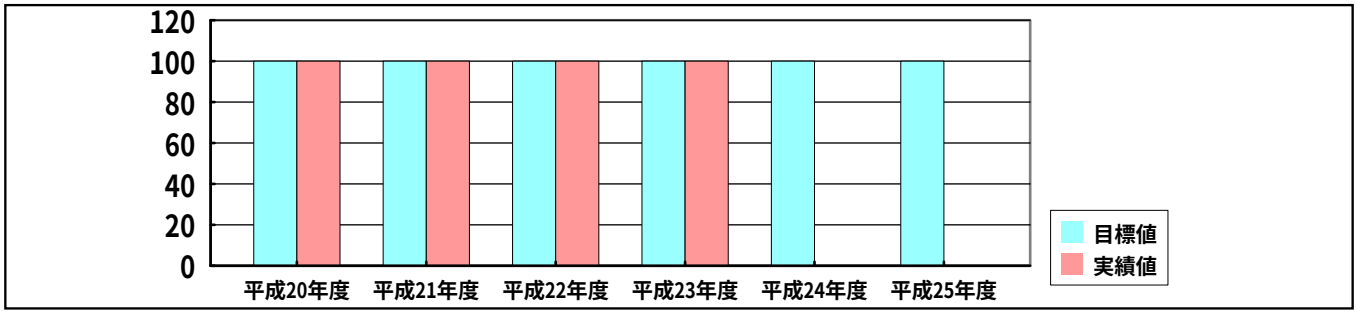
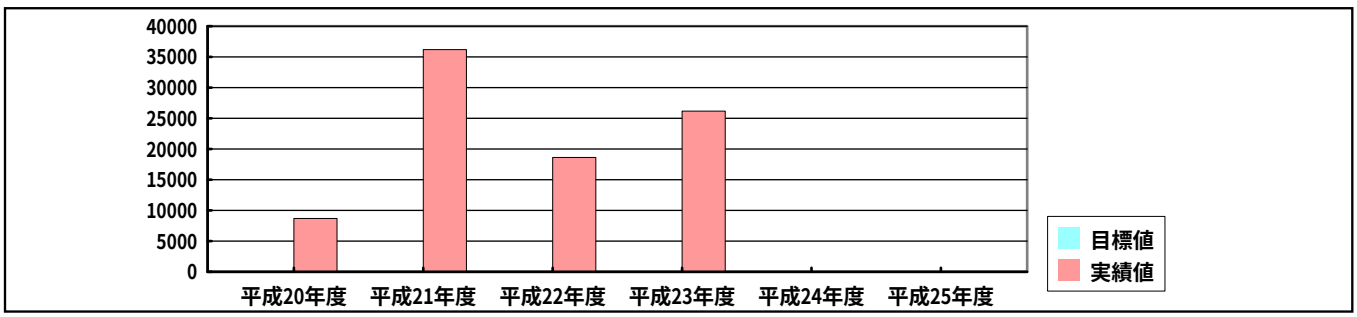
今後の課題	消防車（ディーゼル車）はＮＯｘ・ＰＭ法の規制により、消防ポンプ自動車・救助工作車は１５年、はしご車・化学車は２０年で車検を受けることができなくなってしまうため、車両年次整備計画に基づき順次整備していく必要があるが、特殊な車両であるため、更新に多額のコストがかかってしまう。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	車両更新率



区分	成果指標１	指標名	火災等の災害対応率



区分	効率指標１	指標名	更新車両１台あたりに係る経費